

JR東労組 本部OB会

ニユース

No.234 2016年10月発行

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三



JR総連OB連絡会の「2016年度拡大幹事会」

JR総連OB連絡会が 拡大幹事会を開く

各単組OB会との交流を深め、連携強化を確認

JR総連OB連絡会は9月27・28日の両日、東京のホテルメトロポリタンエドモントで拡大幹事会を開催し、先の参議院選挙の総括と各単組OB会の活動報告をして交流を深めました。

この拡大幹事会にはJR総連から高木副委員長、柳書記長、永島政治部長 (OB担当) と、新しく政治政策局長の任務についた田城郁氏が参加しました。

また日本退職者連合からは、「全国高齢者集会」の準備で忙しい阿部会長が駆けつけて、温かい激励のご挨拶をいただきました。

この拡大幹事会は、従来の「総会」に代わる会議として昨年より開催されているもので、各単組OB会の代表者3名 (JR東労組OB会は5名) と各単組のOB担当者5名が参加しました。

厳しい意見も

会議の一日目は、参院選の総括と「たしろかおる応援プロジェクト」の取り組みで、現役とOB会との関係や連携を巡る意見や、選挙活動への攻撃に過敏になり過ぎた意見などが出されました。

また民進党に対しては、連合推薦が得られなかった反原発の候補者を変更した民進党に対する不信感が、敗北の原因だとする地方からの意見もありました。

17時半からは、会場を移して4つのテーブルに分かれ、盃をかわしながら交流を行いました。一年ぶりの再会に喜び合う人もいて交流会は大いに

千葉地本OB会の相川氏が 「全国高齢者集会」で活動報告



報告する相川さん

9月28日13時より都内の文京シビックホールで、「2016全国高齢者集会」が1800名の参加者で開催されました。JR総連OB連絡会は、前日からの拡大幹事会に出席した参加者と、首都圏から参加した東労組OB会の仲間総勢60名で参加しました。

来賓には、連合の神津会長、民進党の野田幹事長、社民党の福島副党首らが参加しました。

集会では社会貢献活動として、千葉地本OB会の相川好夫さんが白い制服制帽を着用した観光駅長姿で、36年間の「花嫁街道ボランティア活動」を報告しました。この様な大きな集会の壇上に、JR総連OB連絡会の仲間が登場するのは初めてで、応援に駆け付けた地元千葉地本OB会の仲間を始め大勢の参加者から大きな拍手を浴びていました。

集会終了後は、水道橋近くの西神田公園まで横断幕を掲げ、大きな声でシュプレヒコールをしながらデモ行進をしました。



もっと連携を強めよう

盛り上がり、その中を田城さんも元気に交流をしていました。

会議の二日目は9時に再開され、各単組OB会の活動報告が行われました。

報告された内容は、「青年部委員会に招かれ、若い組合員と交流をした」、「辺野古新基地建設に反対する沖縄県民と連帯するツアーを行った」、「リニア新幹線に反対して裁判で闘っている」、「稼働政策を進める会社の強制転勤に反対している現役を応援している」、「貨物問題はOB自らの課題でもある」などで、各単組OB会の闘いや課題などが鮮明になりました。

今後はもっとOB会活動や闘いを

2016年度新役員体制	
会長	大熊 勝明 (東労組OB会)
副会長	藤原 博之 (貨物労組OB会)
事務長	伊藤 義男 (東労組OB会)
幹事	武川 隆二 (北海道労組OB会)
幹事	福島 一三 (東海労OB会)
幹事	文中 恵 (西労OB会)
幹事	中村 靖治 (貨物労組OB会)
(OB担当)	永島 守政治部長

報告し合い、連携を強めて行く事を確認しました。また今回の拡大幹事会で、JR総連OB連絡会結成以来、長年役員を務めてこられた川端実副会長 (JR貨物労組OB会) と佐藤有二幹事 (JR北海道労組OB会) が退任することになりました。また今回の会議で座長を務めた田中副会長 (JR東海労OB会) も退任しました。

東関東ブロックの3地本OB会が DVD観賞と講演で交流 文化座・佐々木 愛さんが「海なお深く」を語る

東関東ブロックの3地本OB会は、9月13日13時よりJR東労組本部の大会議室で、交流会を開催しました。今年の交流会は、東京地本OB会が準備し、水戸、千葉地本OB会の仲間も大勢参加して、会場は約90名近い人達で一杯になりました。

第一部の交流会は、準備地本のOB会長の挨拶で始まり、来賓の本部OB会長、東京地本副委員長の挨拶の後、連合加盟の日本海員組合が作成した「海なお深く」のDVDを観賞しました。

その後、このDVDのナレーションを担当した劇団文化座の佐々木 愛さんから、約1時間に亘ってお話をいただきました。

海員組合の闘いから学ぼう

日本海員組合は、第2次世界大戦で

東関東三地本交流会 (東京・千葉・水戸) JR東労組OB会



平和の思いを語る佐々木 愛さん

多くの船員の人命を失った経験から、今年の1月29日に「民間船員を予備自衛官として活用する事には断固反対する」と声明を発売しました。そして2月には、北朝鮮の長距離弾道ミサイル実験の落下に備え、自衛隊を民間フェリーで石

垣島などへ移動させようとした行動に反対し、その輸送作業を拒否しました(国は別な方法で輸送した)。

佐々木 愛さんとの付き合い

以前東労組の「政経フォーラム」で講演したのが始まりで、その後「中国南京研修」に参加したり、昨年は各地本の集会で「千羽鶴」の公演を通じて交流を深めています。

また佐々木 愛さんは、「下町9条連」の代表として平和活動でも活躍されています。

更に来年2月には、沖縄の土地強制収収に反対した闘いの「命どう宝」の公演準備をしているとの事で、今から楽しみにしている会員も多くいます。

今回の交流会は、自民党による戦争政策に反対する海員組合の闘いと、平和を希求する劇団文化座の佐々木 愛さんの思いを学ぶ交流会でした。

懇親会では、若い劇団員を含めた3地本OB会の参加者たちで、和気あいなと交流を深めました。

この地で暮らしてきた農家の方から手ほどきを受け、日々学んでいます。

会員の中には、植物、昆虫、小動物などの自称「博士」「先生」達が一杯います。その中で田岡さんは力



録係を担い、かつて組合活動で培った聞く事や話す事、まとめる事などの経験が役立っていると語っています。今年の3月には南相馬市の「命を守る防潮堤づくり」にも仲間を誘って行き植樹をしてきました。

日本退職者連合が 「年金問題に関する学習会」を開く

日本退職者連合が8月30日、午後から連合会館で年金の学習会を開きました。この学習会には中央の産別・関連退職者連合と地方退職者連合などから、約90名の参加者が集まりました。JR東労組OB会からは5名がJR貨物労組OB会の6名の仲間と共に、この学習会に参加しました。

この日の学習会の講師には、厚生労働省年金局年金課の日向寺裕芽子課長補佐が招かれ、「持続可能な公的年金制度におけるマクロ経済スライドの在り方とは」と題して、資料とパワーポイントを使って親切に説明がありました。

学習会の内容は、「年金制度の全体像」、「マクロ経済スライドの仕組み」、「マクロ経済スライドの課題」、「将来世代も見据えたマクロ経済スライドの在り方」、「今後の課題と展望」についてでした。

この学習会に参加した11名から、質問や意見の発表がありました。

主な意見は

- ① 100年安心と云って改正した年金制度は、10年で危機を向かえているが、大丈夫か。
- ② キャリーオーバーとか横文字が多過ぎる。日本語で何と云うのか、実効性もあるのか。
- ③ 今の年金制度は、団塊世代がいなくなれば安定する仕組みになっているのか。

またJR貨物労組OB会の仲間からは、「今後も年金だけで生活できるのか」「規制改革会議の会長になる大田弘子氏が、民営化すると発言していたが、公的年金制度は守れるのか」と質問し、それに対し日向寺裕芽子課長補佐は、「公的資金が投入されているので、民営化にはならない」と明言し、参加者を安心させました。

退職者連合は、今後も機会があれば引き続き年金に関する学習会を続ける予定ですので、JR東労組OB会も今後も積極的に参加していきます。

組合カレンダー締切り日迫る!

- 今年から「JR東労組カレンダー」を、本部OB会費を納めた会員で希望する人に配布することになりました。
- 希望する人は、各地本OB会に申し込んで下さい。
- **×切りは、2016年10月31日(厳守)**

わが町の 有名人

東京地本OB会
今回は東京支部OB会の通称「テブさん」と田岡耕司さん

を紹介します。

田岡さんは、東京電車区分会のOB会長をされています。現在、鎌倉市に居住され、地域の自然保護活動に励まれています。

退職後、鎌倉中央公園を中心に里山の生態系を守る「山崎・谷戸の会」に入り、田畑や山仕事、植物育成、野鳥昆虫小動物などの生

息環境を整備しています。特に、小学生の環境学習のお手伝いでは、田植え、草取り、稲刈り、脱穀など、ご飯が子供達の口に入るまでの一連の取り組みを指導して

里山を守るテブさん

ます。楽しそうにはしゃぎながら作業をする子供達を見守るテブさんの目は、まるで自分の孫を見つめるような優しい目付きです。会は7つの班に分かれ、古くから

(鎌倉市在住・田岡耕司・75歳)